

平成26年度 飯田北いちょう小学校 体育・健康プラン

【中期学校経営方針「健やかな体」達成目標】

学校・家庭・地域が一緒になって、「早寝、早起き、朝ご飯」を推進し、一校一実践運動を通して、体力向上を図ります。

<児童生徒の体育・健康面の姿>

- ・どの学年でも外遊びを好む児童が多く、休み時間や放課後に外で遊んでいる。
 - ・就寝時間が遅い、朝食を摂らない、持ち物の準備ができない等、基本的な生活習慣が身につけていない児童が多い。
 - ・給食後の歯磨き活動が定着し、歯磨き検査でもよい結果が得られている。
- (今年度に統合したので、26年度の新体力テスト・生活実態調査の結果をもとに、さらに児童の実態を把握していく。)



<体育・健康に関する指導の目標・方針>

○児童自らが自分の健康、体力向上に関心をもち、めあてをもって生活したり、学習に取り組んだりする。

- ・規則正しい生活、望ましい生活習慣の育成のため、学校と家庭とで連携し、継続的に取組や成果を検証しながらよりよい実践の在り方を探り、実践に生かしていく。
- ・各教科、単元においてめあて学習の取組を深めていくとともに、様々な教育活動の中で、運動する喜びや健康の大切さが実感できるような活動を、児童とともににつくっていく。

教科

《体育科での取組》

- ・多様な運動や遊びにふれ、体を動かす楽しさや互いに協力し合う楽しさを感じられるようにする。
- ・友だちとともに運動を楽しむ中で、積極的に助言や褒めることを促し、お互いのよさに気づくようにする。
- ・保健学習において、心と体の健康を保つことの大切さを実感的に理解できるようにする。

《他教科での取組》

- ・家庭科において、食の大切さを自分ごととして考え、実践できるようにする。
- ・社会科、理科、生活科等において、生命や健康保持の大切さを実感的に理解できるようにする。

道徳・特活・総合

- ・運動会では、体育学習で培った技能をさらに高めるだけでなく、集団で取り組むことで共に運動することの楽しさや価値が感じられるよう、めあてや内容を工夫していく。
- ・総合的な学習の時間の中で、学校の畑を活用して野菜の栽培を行い、自分たちのよりよい食について考えられるよう取り組む。
- ・児童保健委員会により、年間を通して、自分たちの健康についての意識を高め、実践に生かしていける取組を行う。
- ・道徳の時間では、生活と健康との関係を考え、生活の仕方を改善する意欲をもつ。

平成26年度 飯田北いちょう小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 「みんなでめざそう、なわとび名人」

《ねらい》 自分や学級の目標を立て、その目標に向かって自主的に取り組み、技能の向上をめざすとともに、学び合ったり励まし合ったりすることを通して、協調性を育て、達成感が得られるようにする。

《内容》

- ・年間を通して、児童一人一人が縄跳び技の技能向上のめあてを立て、運動に親しむ。
- ・運動委員会が主催し、縄跳び集会を開き、全校児童で技の見合い、高め合いを行う。
- ・個人や学級での取組の経過、結果をカードなどに記録していく。

●指標

- ・個人でのカードを活用し、ふり返ったときの「満足度」
- ・次年度の生活実態調査での「運動やスポーツの実施状況」